



▲雪の中でも元気に滑る上矢作小児童

**学校などスケート教室に活用**

市内小中学校、スポーツ少年団などが教室を開催

スケート場オープン後、12月6日の恵那西中学校のスケート教室をはじめ市内全小中学校で教室が計画されており、13日には長島小学校・上矢作小学校が教室を開催し、雪の振る中でも子どもたちは元気にスケートを楽しみました。

そのほかにも大井総合型クラブ、スポーツ少年団など多くの団体が利用し、子どもたちもいろいろな機会に参加し、中には何回も来ている子もいました。



▲県高校総体でスタートを切る選手

**県高校総体が開催**

岩村高校が連続優勝  
優勝は全員恵那の選手

12月9日、県クリスタルパーク恵那スケート場では最初の本格的な大会となる第55回全国高校スケート選手権大会兼第53回県高校総体スケート競技会が開催されました。雨で記録が伸び悩む中、岩村高校が圧倒的な強さを見せ男子は15連覇、女子は2連覇を決めました。

各種目の優勝は、全員が恵那市の選手で、改めて恵那スケート場の存在が好記録へつながることに期待が膨らみます。1月22日からはじまる北海道苫小牧市での全国大会の成績が注目されます。



▲スケート場オープンでスケートを楽しむ武並・三郷小児童ら

滑った！転んだ！8千人  
スケート場が帰ってきた

12月3日、恵那市武並町に岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場がオープンし、テープカット、元オリンピック選手の滑り初めが行われたほか、3日・4日は一般に無料開放され、7687人が来場。市では恵那峡スケートリンク以来のスケート場に大人から子どもまで滑ったり、転んだりスケートを楽しみました。

オープン当日は、美濃の国岩村城女太鼓の力強い演奏にはじまり、古田県知事、可知恵那市長らがいさつ。市長は「地域の要望活動が実りスケート場がオープンできた。多くの皆さんに利用していただきたい。市としてもスケートを市民スポーツと位置づけ、市民の健康増進、またスケート人口の底辺の拡大に努める。」と語り、感謝状の授与の後、テープカットを行いました。

スケートリンクの滑り初めには、元五輪選手の堀井学さん、三宮恵理子さんが来場。リンクを1周した後堀井さんは「リンクはとても滑りやすく、いい記録が期待できます」と絶賛。三宮さんは「このスケート場からオリンピック選手が生まれるといい」と感想を述べました。

地元選手の華麗な模範滑走などの後開催されたスケート教室には、武



▲開場式でテープカットをする関係者

並小学校、三郷小学校の児童ら約350人が参加、最初は慣れない様子で転ぶ子が多くなりましたが、すぐに氷に慣れスケートを楽しむ光景が見られました。午後からは一般に無料開放され、貸靴には長い行列ができ、多くの皆さんがスケートを楽しんでいました。



## 感想を聞いてみました



県高校総体スケートで2冠  
岩村高校スケート部主将



かずゆき  
田口 和征さん  
(岩村高校3年生)

クリスタルパークのリンクは氷の状態など滑りやすく、場所も近いので氷上での練習が毎日できるようになりました。その分忙しくなりましたが、確実に技術面のアップが期待できるので、インターハイ、国体など全国での入賞を目指します。

上矢作小学校  
スケートスクールに参加



伊藤 真子都さん  
(上矢作小学校5年生)

スケートは初めてで転んでばかりいたけど、教えてもらって外のリンクですぐにスイスイ滑れるようになってうれしかった。雪が降っていたけど寒くなく楽しく滑れました。また今度、学校や友達と一緒に来たいと思いました。

大井総合型クラブ  
スケートスクールに参加



あやか  
堀 綾菜さん  
(大井第二小学校3年生)

スケートは初めてなので、最初は転ぶのが怖かったけど、2、3回転んだら怖くなりました。たくさん転んだけど滑れるようになり、楽しかった。今度は、お母さんたちに滑るところを見てもらいたいです。